



坂田芳郎 議員

Yoshio Sakata



3月定例会

質疑・討論

トピックス

一般質問

委員会視察

追跡

Q. タウンバスの年末年始運行を A. 必要に応じて検討していく

「公共交通の充実」とは、よく耳にするフレーズである。その重要性については議論の余地は無い。本町においては半ば公営とも言える、基幹公共交通網「とよやまタウンバス」年末年始の、運行状況についてである。

名古屋行・南ルート、小牧行・北ルートともに、12月29日より1月3日迄の6日間は、終日完全連休である。

230万人都市名古屋には、歴史にふさわしく、由緒ある名高い神社・仏閣、また話題の観光名所・行楽施設が数多くある。

年末年始、訪れる方々は周辺自治体からも含め、凄まじく大勢であり、ゆえに乗用車での参拝等、立ち寄り極めて困難である。かかる状況下において、本町基幹公共交通網タウン

ンバス6日間の完全連休とは、余りにむづい。逆に増便による運行がなされて、至極当然である。

Q 何ゆえ、連休を為すのか。裏付けある具体的理由を伺いたい。

A 産業建設部長
平成14年10月1日から、市民の通勤通学・公共施設へのアクセスを目的として運行を始めた事から、年末年始の運行は当初から設定しておりません。

Q 現在「あおい交通」への、年間運行助成金・負担金はいくらか。

A 産業建設部長
平成28年度は、約2200万円である。



▲南ルート



▲北ルート

Q 増額等の配慮によって、通年運行のお願いは困難か。

A 産業建設部長
運行開始以来、住民や利用者から、通年運行して欲しいというご要望はなかった。

Q 通年運行への検討・見直しの余地、必要性は考えられないか。

A 産業建設部長
今後の利用意向等の有無を踏まえ、必要に応じて検討していく。